

作者プロフィール

柚木 文夫氏

千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒
元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

日和田山—古代帰化人の里—



日和田山(鹿台橋近くから)

1月中旬の良く晴れた一日、日和田山(305m)に出かけた。奥武蔵、古代帰化人が住んだ高麗の里の一角にある小さな山である。朝8時、秩父線高麗駅。高麗の里のシンボル、天下大將軍と地下女將軍の対



トーテムポールに迎えられた。鹿台橋で高麗川を渡り8時20分、浄水場脇の日和田山登山口。

林の中の遊歩道を20分程も登ると鳥居があって男坂と女坂に分かれる。急な岩場に丁寧に石段が刻まれた男

坂を這い登り9時、二ノ鳥居のある金刀比羅神社の台地に出た。ここの見晴らしが素晴らしい。眼下に特徴のある巾着田の風景、見渡せば奥武蔵の山々、遠くに東京のビル群を見はるかす。

神社の裏手を一登りして9時半、立派な宝篋印塔の鎮座する日和田山頂到着。木立



二ノ鳥居からの巾着田

に囲まれ眺めもないので、早々に出発して次の物見山に向か

う。

林の中の広い尾根道を進み程なく、高指山電波中継塔から続く車道に出る。車道を左にしばらく進むと駒高の集落。開けた尾根上に家が散在するいかにも奥武蔵らしいのどかな山村風景である。

駒高から車道を離れ林の中を一登りして、10時物見山。山頂のベンチで一休みし



駒高の集落

ていると、次から次と登山客が登って来るが、それらがいずれ劣らぬ白髪頭なのがおかしい。

物見山からしばらく尾根をたどり北向地藏で昼食。

ここでも次々と通り過ぎるシルバークループの品定め。自分の事は棚に上げて。



北向地藏

11時15分、やおら腰を上げてユガテに向かう。標識に従い林の中のトラバース気味の道を下り、登り返したところがユガテ。12時。農家が2軒だけの集落だが、畑が青々と広がり庭木や果樹も多く、奥武蔵の別天地の趣である。丁度ロウバイが真っ盛りだった。

ユガテから山道を少し下った後は、のどかな山村風景を眺めながらの車道歩きで、東吾野駅到着13時だった。



ユガテ集落